

## 自然環境の保全について

**Q.** 市長は、施政方針の中で、自然環境について「市内に広がる貴重な自然環境については、その保全に努める」と述べています。しかし、言うまでもなく自然は市内に限らず市外にも繋がっています。市内の自然を守ろうとすれば、当然市外に繋がる自然を意識しながらの取り組みが必要になります。

例えば『川』です。河川環境の保全であれば、現在埼玉県が進める「川の再生事業」などの政策とリンクした取り組みが求められると考え、市長の考え方を尋ねました。

**A.** 市長は、「県や近隣市町村とも連携して取り組んで行きたい」と答え、生態系を意識した環境への考え方も聞くことができました。

## [事例]

古谷小学校の横を流れる元荒川(通称)は現在も自然豊かな湿地帯となっていて、以前は子どもたちもよく遊んでいました。それが、いつの間にか、人が入れる雰囲気も失われ、上流部はコンクリート護岸になっています。最近になり住民の間からも、ここをきれいに保存し、子どもたちが水に親しみ、水辺の生き物と触れ合える環境にしようという声が出てきました。

埼玉県の環境白書には今の子どもたちは川遊びも整備されたキャンプ場のようなところです非日常体験になっていることを憂い、すべての川を清流によりみがえらせ、遊びの空間として、あるいは学びの空間としたいと書かれています。

芝生と花壇の「自然?」ではなく、生態系の保たれた本物の自然が今求められています。

## その他の質疑

川口 市立大学の設置は断念し、設置準備室も廃止するようだが、ここで実施してきたシティカレッジ講座はどうするのか。  
市長 4月からは生涯学習課で実施したい。

川口 人事異動について、中堅職員や管理職の移動がサイクルが早いと感じる。サイクルの長期化を検討するお考えは。  
市長 諸例を踏まえて行っていきたい。ご理解をいただきたい。

\* 上記の他、自治基本条例の必要性・副市長に求める役割・改革の先にある市長がめざす『かわごえづくり』、について質疑しました。

## 川口の活動日誌

\*下記では会議・行事等を中心に掲載しています。

2月10日	市庁舎建設特別委員会
11日	老袋氷川神社弓取り式出席 川越市体育功労者表彰式出席
12日	土地開発公社理事会 古谷東小学校施設活用検討委員会
13日	国保運営協議会 / AED研修参加
20日	12月議会議案会派説明
21日	かわごえ環境フォーラム
22日	荒川流域再生シンポジウム
23日	川越市議会広報編集委員会
25日	12月議会閉会日
27日	議案質疑
28日	古谷東小学校閉校式出席
3月 1日	二ノ関自治会総会出席
2日	質疑
3日	質疑

3月4日	質疑
5日	川越市議会広報編集委員会
6日	一般質問
9日	一般質問
10日	市立川越高校卒業式出席
12日	一般質問
13日	一般質問
14日	川越東中学校卒業式出席
16日	文教常任委員会
18日	岡田幼稚園卒園式出席
24日	古谷東小学校卒業式出席 川越市議会広報編集委員会
25日	12月議会閉会日
27日	荒川右岸用排水土地改良区総代会出席
28日	あすなろ保育園卒園式出席
30日	川越市議会広報編集委員会